

その他のご質問

経営責任について

| 質問内容 | 回答 |
|---|---|
| 今回の一連の「トラブル」の責任は誰がどのような形でとるのですか [六ヶ所] | <p>今回のプール水の漏えいに関しましては、過去の施工に起因するものですが、現経営陣が、原因を調査し、補修し、反省すべき点について、今後は社長をトップに改善策を実施し、県民の皆さまに安心していただくよう取り組んでいくことが責務と考えています。</p> <p>なお、経営管理責任の観点から平成14年12月に社長を含め減給措置を講じています。</p> |
| 「品質保証体制の改善に向けた取り組み」の資料の中の反省点で認識が十分でなかったと言っているが、内容としては管理監督が不十分であったためと考えられる。質問は「管理監督者の処分を行ったのか。どんな内容の処分であったのか」 [青森] | |
| 社長の反省策は何ですか。不具合が発生した時の佐々木社長の立場と、その時の責任のとり方は。 [八戸] | |
| 今回の不祥事に対して、会社として具体的にどんな責任をとりましたか、分かりやすく。 [八戸] | |
| 旧経営陣の努力不足が今回の溶接不良となったと考えるならば、当時の経営陣に対しペナルティー課すべきです。もし、ペナルティーがないとすれば現在の経営陣も同様の過誤を見逃す可能性が生じるのではないですか。 [六ヶ所] | |

再処理工場に関する質問について

| 質問内容 | 回答 |
|---|---|
| 防災計画についてお聞かせください。 [八戸] | <p>防災業務計画は、原子力災害から地域の皆様の生命、身体及び財産を守るために原子力災害対策特別措置法の規定に基づき、原子力災害の発生、拡大防止及び復旧に関する事項を記載したものです。当社では、この防災業務計画に基づき、防災体制や資機材の整備、定期的な訓練の実施等、必要な諸活動を行っています。</p> <p>なお、防災業務計画は定期的に見直しを行うとともに、その内容は当社ホームページや青森市にある「日本原燃サイクル情報センター」で公開しております。また、作成や見直しにあたっては、青森県、六ヶ所村と協議のうえ、国に届出を行っています。</p> |
| 原子力の事業に「事故」は避けられないとの認識のようですが、その「事故」にシビア・アクシデントは含まれているとのご認識でしょうか。端的にお答え下さい。 [青森] | <p>シビアアクシデントが起こる可能性は、十分な事故防止対策を施したため、発生し得ないと考えられる程、極めて小さなものです。しかし、シビアアクシデントへの対応も考慮しており、防災業務計画に基づき当社は関係機関と協力しながら住民の皆様の安全確保に努めます。</p> |

その他のご質問

| 質問内容 | 回答 |
|---|---|
| <p>今回の事故、これからも予想される事故、事件、何らかの住民への被害に、誰がどのような責任を負うのか。[六ヶ所]</p> | <p>万一、当社施設の運転などに起因して原子力損害が発生した場合には、当社は被害を受けた方と誠意をもって話し合い、解決に努めていきます。</p> <p>しかしながら、話し合いで解決できない場合には、国においては「原子力損害賠償紛争審査会」があるとともに、青森県においては「風評被害認定委員会」があることから、当社としては、これら公正かつ適切な第三者機関の判断にしたがって、必要な補償をしていきます。</p> <p>なお、「原子力損害の賠償に関する法律」では、原子力損害が発生した場合に備え、事業者は必要な措置を講じていなければ原子力施設の運転を行ってはならないことになっており、当社ではこの法律に基づき必要な措置を講じています。また、同法律では事業者の損害賠償措置額が定められていますが、その損害賠償措置額を超えた場合には、国が事業者を支援することになっていきます。</p> |
| <p>飛来物について、お尋ねします。[六ヶ所]</p> | <p>三沢対地訓練区域で対地射爆撃訓練飛行中の航空機については、当区域は再処理施設の南方向約10kmと離れており、また、航空機は原則として原子力関係施設上空を飛行しないよう規制されること等から、航空機が施設に墜落する可能性は極めて小さいと評価しています。しかしながら、当区域で多くの訓練飛行が行われているという立地地点固有の社会環境及び本施設の特質を配慮し、仮に訓練飛行中の航空機が施設に墜落することを想定したときに、住民の皆様に着しい放射線被ばくを与えることがないよう、堅固な構造等により航空機の衝突に対して耐えられる設計としています。</p> |

その他のご質問

| 質問内容 | 回答 |
|---|---|
| <p>農業を大切と思っておりますが、一番は環境ではないかと思えます。環境は守られるでしょうか。[八戸]</p> | <p>放射性物質による影響は、天然の放射性物質、人工の放射性物質を問わず、一律、線量（ミリシーベルト）の大きさで評価されます。</p> <p>再処理工場から環境に放出される排気及び排水中の放射性物質については、洗浄、ろ過、蒸発処理等の国内外の最良の技術を用いて、できる限り低減することとしています。</p> <p>排気、排水中に残った放射性物質については、十分な拡散・希釈効果を有する高さ約150mの排気筒の排気口や、沖合約3km水深約44mの海洋放出管の海洋放出口から放出することにより、周辺住民の線量を低減することとしています。</p> <p>その結果、再処理工場から放出される放射性物質による周辺住民の線量は、再処理工場周辺において年間約0.022ミリシーベルトと評価しております。この値は、法令で定める周辺住民の線量限度の年間1ミリシーベルトを十分に下回る値（約50分の1）であるとともに、自然放射線による線量年間約2.4ミリシーベルト（世界平均）の約1/100と非常に小さな値であり、国内における自然放射線による線量の地域差年間約0.33ミリシーベルト（国内最大の岐阜県・青森県の差）と比較しても小さな値です。再処理工場から、より遠方の地域では、放射性物質はより拡散・希釈され、線量はさらに小さくなります。</p> <p>なお、上記の線量評価値年間約0.022ミリシーベルトのうち、農畜産物や海産物を摂取することによる線量は年間約0.014ミリシーベルトであり、これは、食品中に元々含まれている天然の放射性物質による線量の年間約0.3ミリシーベルト（世界平均）と比べても十分小さい値です。</p> |
| <p>再処理工場が稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> | <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> |
| <p>煙突はなぜ高くしたのですか、大気に出せば薄まって害がないというのでしょうか。[八戸]</p> | <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> |
| <p>原燃から出される放射能より再処理の放射能は1年分というのは本当ですか。[八戸]</p> | <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> |
| <p>少なからず大気や海水など汚してるはずですが、国の定めたレベルをクリアするため以上の対策はお考えですか。汚染をクリアするための数値はとうてい納得出来るものではありませんか。[八戸]</p> | <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> <p>再処理工場から稼動すると、普通に運転しても一般の原子力発電所よりたくさん放射能を出して、魚や肉類や牛乳、野菜など食べ物も汚染すると聞いたのですが、本当ですか。書類点検のみの箇所もあるとすれば、被害はもっと大きいのでは。[八戸]</p> |

その他のご質問

| 質問内容 | 回答 |
|--|---|
| <p>再処理工場の特殊性について 原発によって放射能がどれだけ増えて、そのどれくらいが使用済燃料に残り、再処理によって、どのように変化異動するということに、社長以下皆さんの認識をおきかせください。 この特殊性の認識なしに、安全性の品質管理はありえないと思います。[六ヶ所]</p> | <p>再処理工場は、使用済燃料から再利用できるウランやプルトニウムを回収する原子力施設であるとともに、硝酸や油を取り扱う化学工場でもあります。 前者については臨界防止や被ばく低減等の対策、後者については酸による腐食や油の火災等への対策と、いずれも特性を十分に考慮した対策を講じています。 これら再処理工場に対する安全上の考慮については、計画を立てて、社員へ教育することとしています。</p> |
| <p>再処理施設の危険性についての特殊性について認識が甘いのではないですか。[八戸]</p> | <p>通水作動試験から化学試験、ウラン試験、アクティブ試験と段階的に操業状態に近づけながら試験を行っていく中で、再処理工場の機能及び性能を確認するとともに、設備の不適合等を早期発見し、これを是正することとしています。試験の中には、停電時に確実に非常用電源が供給できることなど、異常時に必要な設備の動作確認等も含まれます。 また、これら目的を達成する過程で、運転・保修員等の技術力の向上、運転要領書等の充実を図ってまいります。</p> |
| <p>施設全体としての運転上の健全性の確認は、ウラン試験にて行われるのですか？施設全体での通水・化学試験及びイジワル試験の必要性については、どの様に考えられていますか？[弘前]</p> | <p>当社でいう協力会社とは、元請会社およびその一次下請会社を指します。具体的に例示すると、鹿島建設、大成建設などの大手ゼネコン企業、三菱重工や日立製作所などの大手重電企業および地元の企業などです。</p> |
| <p>勉強になりました（はじめての参加です）。協力会社とありますが、具体的にどういう会社でしょうか。[八戸]</p> | <p>当社が直接契約関係にある元請会社は、原子力施設に関わる実績を持つ企業を選定しています。また、元請会社が下請会社と契約する際には、技術審査を行うとともに、実際に作業に携わる前には入所時の教育を行っています。</p> |
| <p>協力会社の作業員等も原子力についての知識、認識を持った人があっているのでしょうか？[弘前]</p> | <p>当社が直接契約関係にある元請会社は、原子力施設に関わる実績を持つ企業を選定しています。また、元請会社が下請会社と契約する際には、技術審査を行うとともに、実際に作業に携わる前には入所時の教育を行っています。</p> |

その他のご質問

その他

| 質問内容 | 回答 |
|---|---|
| <p>原子力安全委員会と原燃との関係はどのように改善されたのか。[六ヶ所]</p> | <p>原子力安全委員会は、1978年に原子力委員会が有していた機能のうち、安全確保及び安全規制に関する事項について、企画、審議する機関として設置されており、内閣総理大臣を通じた関係行政機関への勧告権を有しています。 なお、当社との関係については、以前と変わりはありません。</p> |
| <p>会社の健全性について、現在の赤字体質をどう改善するつもりですか。安全性と企業としての健全性はどう両立させるのですか（六ヶ所での社長発言より）[八戸]</p> | <p>当社事業の基盤は安全第一にあり、安全なくして、当社の存立はあり得ないと考えています。 再処理事業をはじめとする、当社の事業は、世界的にもビジネスとして展開されており、当社も民間企業として、安全性、経済性の両面に配慮し、着実な事業運営を進めていきます。</p> |
| <p>トップマネジメント（社長）自身、どこに住んでいますか、もし他町村なら六ヶ所村に住んでください。[六ヶ所]</p> | <p>県内に勤務している役員および管理職は、約440名ほどいますが、寮・社宅も含めて、全員が県内に居住しています。 その中で独身者を除いた約4分の1は、家族も県内に居住しています。</p> |
| <p>地域に根差した企業である事が求められていると考えますが、管理職及び役員の方のご家族を含めた当県在民化比率を示して頂きたい。[弘前]</p> | |